

「さんべボランティアのススメ～先輩から後輩へ～」

1 趣 旨

- ・主体的に社会に参画しようとしている青年を対象に、事業の企画・運営を通してリーダーシップを身につけ、将来のリーダーとなるための体験を通じた学びを提供する。
- ・「さんべボランティアセミナー」（以下：ボラセミ）の企画・運営に向けた話し合い活動や実習を通して、参加者同士のコミュニケーションを深めていく。

2 事業の概要

(1) 期 日 令和2年10月24日（土），10月25日（日）＜日帰り＞

(2) 会 場 松江市城東公民館

(3) 参加者 大学生5名（島根大学5名）

(4) 日程・研修内容

○10/24（土）

9：30 ①オープニング（趣旨説明）

9：45 ②「ボラセミの話し合い・準備（1.0h）」

11：00 ③「ボランティア活動の技術（1.5h）」

12：30 昼食

13：30 ④「ボランティア活動の技術（2.5h）」

16：30 ⑤「青少年教育施設におけるボランティア活動（2.0h）」

18：30 終了

○②10/25（日）

9：30 ⑥「安全管理（救命救急）（3.0h）」

12：30 昼食

13：30 ⑦「青少年教育（1.5h）」⑧「ボランティア活動の意義（1.5h）」

16：30 ⑨クロージング（ふりかえり）

17：00 終了

3 事業の内容

(1) プログラムデザインと企画のポイント

これまでに当施設で活動してきたボランティアが「先輩ボランティア」（以下：先輩ボラ）として、ボラセミの企画及び事業運営の補助に当たる。先輩ボラとボラセミ参加者がつながることで、次の世代のボランティアの育成が継続して行えるように心掛けている。

(2) 運営のポイント

先輩ボラが、ボラセミ参加者への講義・演習「青少年教育施設におけるボランティア活動」の企画・運営を行う。また、先輩ボラは、ボラセミ参加者と共に講義・演習に積極的に参加し関わる機会を多くした。これにより、先輩ボラとボラセミ参加者との関わりを深め、当所でボランティア活動をやる意欲が高められるようにするとともに、効果的に学びを深め、円滑な人間関係を築けるようにした。

4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計

(2) 参加者の声

①企画編

(%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
プログラム	100	0	0	0
運営	100	0	0	0
職員の対応	100	0	0	0

- ・今回のセミナーをきっかけに、後輩ボラのつながりが少しでも生まれてくれたらいいと思いました。
- ・とてもいい雰囲気での研修をすることができました。

5 成果と課題

《成 果》

- ・本年度は、予定していた「企画編」の実施ができず、先輩ボラが企画・運営するための準備時間を十分にとれなかった。しかし、ボラセミ参加者と共に講義・演習に積極的に参加する時間を増やしたことで、参加者同士のコミュニケーションを深めることができた。
- ・ボラセミ参加者とのつながりを意識して取り組んだことで、今後の活動に対する意欲や先輩ボラとしての自覚を高めることになったとともに、自分たちの新たな課題を見つけることができた。

《課 題》

- ・本年度は、宿泊での開催が難しく、日帰りでの開催となった。当事業の主要な参加者である島根大学教育学部の学生をターゲットに会場を大学近くの松江市城東公民館に設定した。それにより、参加者も気軽に参加することはできたが、職員側の運営負担は増加した。次年度以降の開催に向けて、実施方法や研修内容の見直しを行い、より良い事業を目指していく必要がある。



(担当：企画指導専門職付 福田 将大)